

事務事業評価表 平成23年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 生涯学習の充実
 基本事業 生涯学習関連施設の充実

事業名 **コミュニティセンター運営管理事業**

[5226]

部名	教育部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) コミュニティセンター
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 地域コミュニティ醸成の拠点として、施設の維持管理・運営を適切に行い、地域の活性化を図るとともにコミュニティ機能の充実を図る。
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) 施設の管理運営を指定管理者に委託する。

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	指定管理委託料	千円	16,420	16,372	14,801	14,637
活動指標2						
成果指標1	利用者数	人	207,586	225,759	196,342	220,000
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	16,420	16,372	14,801	14,637
正職員人件費 (B)		千円	2,090	2,075	2,015	2,037
総事業費 (A) + (B)		千円	18,510	18,447	16,816	16,674

費用内訳	
22年度	委託料 14,801千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	・法改正に伴い18年度より指定管理者による管理運営を導入した。 ・施設の老朽化や市民の学習要求などの多様化等により、より適正かつ効果的な管理運営が求められてきている。
--------	--	-------------	--

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

・市民に対し、生涯学習及び地域コミュニティ醸成の場や機会の提供は必要で、これに係る施設の運営管理事業は妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

・舞台を備えたホールとしては江別地区で唯一であり、施設としての使用用途も広く、上位基本事業の達成のためには必要不可欠である。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

・指定管理者制度の導入により、効率的な運営管理が実現され、利用者ニーズに柔軟な対応が可能となっており、良い意味で現状を維持している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

・18年度より指定管理者制度の導入され生涯学習施設の充実が図られつつあり、今後も指定管理者の適正かつ効率的な運営管理と斬新な事業企画により、より利用者ニーズに応えられ、市民サービスの向上が図られる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

・平成18年度より指定管理者制度を導入しており、急激なコスト削減は難しいが、今後とも指定管理者との協議、調整を図り、管理運営の改善・工夫を含めた効率性を追求していく。